

## 別紙 2

[抄録様式]

公益財団法人 8020 推進財団	
平成 30 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1. 事業名：	要介護者、障害者(児)等歯科保健医療サービスを受けることが困難な者を対象とした口腔ケア、口腔機能向上に関する事業
2. 申請者名：	会津若松歯科医師会 会長 桑原 英俊
3. 実施組織：	会津若松歯科医師会
4. 事業の概要：	福島県会津医療圏は、約 25 万人の規模で高齢化率は約 29%と全国平均より高く高齢化がすすんでいる。今後、更なる高齢化が予想され、歯科診療内容のニーズもそれに伴い訪問診療やオーラルフレイル予防、嚥下障害患者への対応など変化してきている。それに対して、H29 年度より基幹病院である会津中央病院歯科口腔医療センターが地域歯科診療所に向けて、病棟・施設での口腔衛生管理及び嚥下機能評価を含めたオーラルフレイルの評価、口腔機能向上訓練の研修を開始し、今年度も継続して研修を行った。
5. 事業の内容：	昨年度に引き続き基幹病院である会津中央病院歯科口腔医療センターにて研修を施行した。専任歯科医師、専任歯科衛生士が講義、実習形式でのオーラルフレイルの検査(咬合様式、咀嚼能率検査、最大舌圧検査、舌口唇運動機能低下等)、嚥下機能評価(反復唾液嚥下テスト、改訂水飲みテスト等)、訓練(咀嚼訓練、氷なめ訓練、頭部挙上訓練等)を指導した。また、口腔機能低下症の診断の際に使用する検査(口腔乾燥、口腔不潔)も追加して検査方法に関しての講義や実習をおこなった。また、2 回目以降の実習では VE 検査など開業医では習得しづらい検査も実践してもらった。さらに、本年度より会津中央病院歯科口腔医療センターで行っている関連施設に対する訪問診療に同伴してもらい、開業医での訪問診療や往診を想定した研修を追加した。
6. 実施後の評価(今後の課題)：	今回延べ 8 施設の歯科診療所から 6 名の歯科医師と 15 名の歯科衛生士及び歯科助手、事務が口腔衛生管理実習付き研修会に参加した。また延べ 7 施設の歯科診療所から 6 名の歯科医師と 13 名の歯科衛生士及び歯科助手、事務が摂食機能療法実習付き研修会に参加した。さらに 1 施設の歯科診療所から 1 名の歯科医師と 2 名の歯科衛生士及び歯科助手が訪問診療実習つき研修会に参加した。受講した施設は現在、訪問歯科診療を積極的に行っている歯科診療所や、現在は全く行っていないが、今後訪問歯科診療を検討している歯科診療所など幅広かった。両者ともとても充実した研修が行えたという意見が多かった。訪問診療実習つき研修会に参加した歯科診療所が少なかったため、今後 1 度受講した歯科診療所には訪問診療実習付き研修会を勧めていきたい。